

第47回 保守管理検討会 議事録

1. 開催日時：平成31年1月21日(月)10:30～15:55
2. 開催場所：航空会館 504 会議室
3. 出席者（順不同，敬称略）
 - 出席委員：鈴木主査(中部電力)，大島(東北電力)，笠毛(九州電力)*1，
川瀬(北陸電力)，齋藤(電源開発)，中廣(関西電力)，
西野(北海道電力)，花木(日立 GE ニュークリア・エナジー)，
堀水(原子力安全推進協会)，真壁(東京電力 HD)，
峯村(東芝エネルギーシステムズ)，和地(三菱重工業) (計12名)
 - 代理出席者：仲井(日本原子力研究開発機構・金子代理)，
品川(中国電力・竹丸代理)，中間(日本原子力発電・林田代理)*2
(計3名)
 - 欠席：大平(四国電力)*1 (計1名)
 - 事務局：飯田，大村(日本電気協会) (計2名)

*1:午前出席， *2:午後出席
4. 配付資料
 - 資料 47-1 委員名簿
 - 資料 47-2 欠番
 - 資料 47-3 保守管理規程／指針(JEAC4209/JEAG4210)次回改定の検討状況
について【中間報告】
 - 資料 47-4 品質管理に必要な体制の基準に関する許可・指定基準への追加
事項について
 - 資料 47-5 JEAC4209-JEAC4111 比較表の変更理由の分類について
 - 資料 47-6-1 JEAC4209-JEAC4111 比較表 4～6 章
 - 資料 47-6-2 JEAC4209-JEAC4111 比較表 7 章
 - 資料 47-6-3 JEAC4209-JEAC4111 比較表 8 章
 - 資料 47-7 JEAG4210「原子力保守管理指針」における現行／改定案の比較表
 - 資料 47-8 JEAG4210「原子力保守管理指針」における現行／改定案の比較表
添付資料
 - 資料 47-9 保守管理規程／指針(JEAC4209/JEAG4210)次回改定の検討状況
について【中間報告】
 - 資料 47-10 「原子力安全のためのマネジメントシステム規程」(JEAC4111-20XX)

の検討状況(中間報告)

資料 47-11 「原子力安全のためのマネジメントシステム規程」(JEAC4111-20XX)

資料 47-12 改善措置活動に関する推奨事項

5. 議事

(1)代理出席者の承認等

事務局より代理出席者の紹介があり、主査により承認された。代理を含めた本日の出席委員数は、規約上の決議の条件である『委員総数の3分の2以上の出席』を満たしていることが確認された。また、配付資料の確認があった。

(2)品質基準規則追加 21 項目の記載:資料 47-3 P5, P6:主査

・資料を変更した項目のみ記載

○1. 基本安全目的の明確化:資料47-6-1P1

・資料47-6-1 MC-1 b→「-」 RIDMは21項目と関係なく追加。新旧比較表、目標をもう少し書き足したい。RIDM実施にあたってのプロセスは、原子力学会のRIDM実施基準を参照等に入れたい。解説に追加する。

→原子力学会標準は、MG-1、枠の外ではないか。

・資料47-7 P22/52にあるものと同じとする。

○2. リスクを考慮したグレード分けの明確化

・リスクはJEAC4111では4.1項に記載。JEAC4209はJEAC4111を受けたわけでない。

→検査の独立性では、JEAC4111の8.2.4に記載され、MG-11-1等に記載がある。これは規則が変わったから変える。同じような記載でも、JEAC4111を具体化したJEAC4209と、JEAC4111と同じような内容を書いている2つがある。

・例えば、JEAC4111が変わって、JEAC4209を変えたい項目はP6のプロセス及び組織変更管理、不適合及び是正処置の見直し。JEAC4111の変更によるJEAC4209の変更は赤字にすれば良い。

→○が今回追加で、●はすでに変更してある部分、「-」は反映しない。

・リスクについて、JEAC4209ではMC-8, 11等を変更、2016年に変えている。一方、19, 20はJEAC4111が変わっているので、JEAC4209を変えている。

→添付1には○だけを書く。●は記載しない。

・リスクはJEAC4111ではなく、自主的安全性向上、リスク情報活用で変更したか。

→そのとおり。IAEA, NUMARC等をベースにしている。

・表で品証規則21項目があり、JEAC4111があり、それを受けてJEAC4209と読んでしまう。

→説明の際には、反映済であることを述べる。

・4.1とMC-8が紐付られていて、資料47-7 P20/52 MC-8 解説12, P32/52 MG-11-1-2はJEAC4111を参照という呼び込みがない。

→資料47-3P20に書いてある。JEAC4111と重複する事項の一部について記載し、JEAC4111の要求である旨補足したとある。

→資料47-8 P3/55の7.3で書いてある。MC-5からMC-16まで、本文側で個別に書いている。

○3.全ての階層の管理者のリーダーシップの明確化

・資料48-6-1 P32 追加記載が必要である。P45のリーダーシップをコピーする。

→P45では権限を与えなければならないとあり、リーダーシップではないのではないか。

○5. 経営責任者の安全文化醸成活動の明確化

・資料47-6-1 P32の安全文化をコピーして、P36 に張り付ける。

・P36 見え消しを削除する。

○6. 技術的、人的及び組織間の相互作用を考慮した全体的取組の明確化

・前のバージョンと品証が変更した。力量のところに追加要求事項があるので「-」。2/12は今のバージョンとする。原子力規格委員会の時に修正する。

○8 試験・検査を行う者の独立性の明確化

・資料47-6-3 P11分類a, 表現を変える。「基本 requirements ~ 反映する。」を残す。

・資料47-8 P8/55 MC-13で、新しく入れたMC-11とMC-11-2を入れるか。

→ここにMC-11使用前事業者検査、定期事業者検査をここに入れるか。

→添付1も追加以外は白抜きにして、新たな記載を入れることとする。

→定期事業者検査はP8/55を直す時に追加する。

・P12の不適合の管理は削除する。

(3) JEAC4209-JEAC4111 比較表: 主査

○資料47-6-1: 4~6章

・P1 定義: JEAC4209では分かりにくい、追加を書くか書かないか。後で判断する。

○資料47-6-2: 7章

・P1 7.1個別業務の反映箇所はMC-5~16まで、JEAC4209

・P2 SG 保守管理に関する管理の大枠を定めた計画書、保全計画に違和感あり。

→JEAC4111側に申し入れることにする。

○資料47-6-3: 8章

・P1, 8, 9, 10, 11, 12, 16, 17 見え消しを削除する。

・P3 CAPの記載を削除する。

・P11 下のところCAPは削除する。

・P12 検査の独立性のところを削除する。

・P18, 19, 20 削除する。

- ・P21, 22 黒字を削除する。
- ・P33/52 現状はMC例にある。定期事業者検査, 今回は独立性も要求。使用前検査をP36/52に。

(4) JEAG4210 新旧比較表: 主査

○資料47-7 本文比較表

- ・P2/52 緑地→白地にする。比較表は検討中としておく。
- ・定期事業者検査のフロー 修正案検討中とする。理由を①-Aとする。
- ・P4/52 事業者検査化の理由は①。自主的安全性向上に向けた～の理由は②。
- ・P6/52 解説X 例示にする。変更理由は, RIDMは②-B。
- ・P7/52 範囲を少し増やす, 施設管理が増えた部分。理由は①-C。①-Cの後ろの記載は削除する。
- ・P9/52 CFFを追加した。理由は⑤
- ・P11/52～12/52 構成管理を書くか。
→CMは書かなくて良い。削除する。
- ・CAPは, JEAC4111との整合性を考えて, 改善措置活動とする。
- ・保安活動を定義しないで削除する。
- ・CAPの変更理由は②-Bとする。
- ・P14/52 プロセスの変更は消すこととした。
- ・緑地は白地にする。検討中とし, 理由は①-C。
- ・解説X ガイド案の修正を見て修正する。
- ・P16/52 保安規定に合わせたい。～及び総合的なリスク情報の観点から長期停止等のも削除する。今のままとする。
→拙速よりも, しっかりと定まってから修正する。
→2007年版のように戻しておき, 保安規定の記載, 状況を踏まえて検討中とする。
- ・P17/52 緑地→白地とし, 検討中とする。
- ・英語ではmodification。プラント変更は分かりにくいソフトとハードの両者がある。
→SSRを削除する。良く分からないので消しておく。
- ・P21/52プラント変更はそのままとする。
- ・P22/52 リスク指標の中で, RRWとRAWとFV重要度とBirmbaum, これらがどういうところに有効か。山口先生から整理しておいた方が良いと言われている。調査をお願いしたい。
- ・P28/52 保全計画策定でCAPの保全に係る情報も含めて計画を作る, ③とする。
- ・新設計・新技術～を削除する。調達要求事項で新たに追加になったものではない。
- ・P30/52 変更理由を②-C検討中とする。
- ・P33/52 定期事業者検査の, また以降は, 保安の措置のガイドをコピーしている。

- ・P34/52 ③と①-Bとは何か。
- 保安の措置のガイドを持ってきている。品証でも実用炉規則でも求められている。
- ・①-Bと③を残すこととする。①-B及び③と表記する。
- ・P34/52 フローは検討中とする。
- ・P35/52 緑地→白地。補修, 改造のところで, 検討中とする。解説29も検討中。
- ・P36/52 緑地→白地。解説30検討中。解説30X検討中。
- ・P36/52 変更理由 ③(7.3.1)だけを削除する。また, 以降は削除しないで, 変更理由は検討中とする。
- ・使用前事業者検査の変更理由も検討中とする。
- ・P37/52 なお書きを削除する。検討中とする。例示も検討中とする。
- ・P51/52 (1)はマネジメントの変更は追加する。変更理由は③だけとする。
- ・(1)のマネジメントシステムの変更の後ろに, 恒久的な構成変更を実施した場合の施設構成情報と物理的構成との管理状況から, を追記する。
- ・解説56を, 継続的に改善する項目としては～力量等があり, これらの項目をCAPのインプット情報とすることは更なる改善を図ることが有効である, とする。
- ・P45/52 fはリスク情報として, そのまま残る。変更理由は③だけを残す。
- ・P33/52 独立性を要求事項に入れた方が良いか。
- ・現状は法令要求であるからMC側にある。今回は法令要求として独立性もある。「・」の前までは法令要求。「・」を独立性の具体例を外に出す。
- その後の使用前検査も同様である。
- ・具体的には, 3のあと, 4にして, 定期事業者検査の独立性の具体例とする。
- ・P7/52 JEA4111-2013→20XX。
- 資料47-8 添付資料
- ・P1/55 添付9は検討中とする。
- ・P16/55 検討中を記載する。
- ・P45/55 リスクの管理を削除する。gだけが追加になる。
- ・gの内容欄はどこかから引用している。
- CAPで附属書が出来たので, 良いのがあれば持ってくる。
- JANSIのCAPガイドには多少記載がある。

(5)スケジュール

- ・2/8までに資料一式を作成。PP資料, 比較表をメール審議。
- ・2/12分科会: 13:30~, 航空会館B101: 主査, 真壁委員, 中廣委員, 笠毛委員で対応。当番は大平委員, 堀水委員。
- ・2/20検討会: 10:30~, 電気倶楽部10階A会議室: 分科会, 先生方のコメントへの対応検討

・3/4 3役説明

・3/12:13:30~16:00, 電気協会:品証との摺合せ:前回出席の方, 希望者出席。

・3/28規格委員会:当番, 中間委員, 伊藤委員。30分程度。多く出席いただきたい。

以 上